

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公表番号】特表2003-518539(P2003-518539A)

【公表日】平成15年6月10日(2003.6.10)

【出願番号】特願2001-548605(P2001-548605)

【國際特許分類】

| | | |
|---------|--------|-----------|
| C 0 8 L | 69/00 | (2006.01) |
| C 0 8 J | 5/00 | (2006.01) |
| C 0 8 K | 3/34 | (2006.01) |
| C 0 8 K | 5/49 | (2006.01) |
| C 0 8 L | 101/00 | (2006.01) |

(F I)

| | | | | |
|---|---|---|---|--------|
| C | 0 | 8 | L | 69/00 |
| C | 0 | 8 | J | 5/00 |
| C | 0 | 8 | K | 3/34 |
| C | 0 | 8 | K | 5/49 |
| C | 0 | 8 | L | 101/00 |

【手續補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ポリカーボネート、少なくとも 1 種の衝撃変性剤、少なくとも 1 種の
リン含有耐炎剤、および高純度タルクを含有し、該タルクがタルクに対して各成分 M g O
含有量 30.5 ~ 32 重量 %、S i O₂ 含有量 60 ~ 62.5 重量 % および A l₂O₃ 含有量 0.7 重量 % 未
満であることを特徴とし、前記タルクがさらに、少なくとも 50% 重量のタルクでの最大直
径 2.5 μm 以下を有するタルク粒子 (d₅₀ 2.5 μm 以下) で特徴付けられる、組成物。

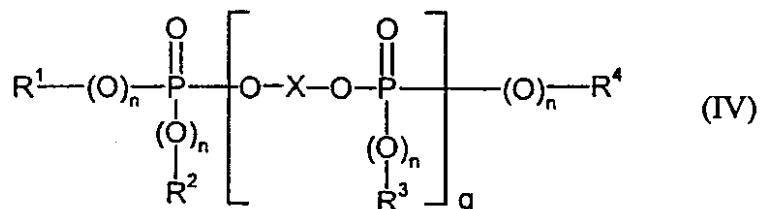
【請求項 2】 少なくとも 1 種の芳香族ポリカーボネート 40 ~ 98 重量 %、少なくとも 1 種のグラフトポリマー 0.5 ~ 50 重量 %、少なくとも 1 種のリン含有耐炎剤 0.5 ~ 40 重量 %、およびタルク 0.05 ~ 40 重量 % を含有する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項3】 衝撃変性剤として、少なくとも1種のビニルモノマー5~95重量%の、ガラス転移温度10未満の少なくとも1種のグラフトベース95~5重量%への、1種またはそれ以上のグラフトポリマーを含有する、請求項1~2いずれかに記載の組成物。

【請求項 4】 モノおよびオリゴリン酸またはリン酸エステル、ホスホネートアミンおよびホスファゼンの群から選択される、少なくとも 1 種のリン含有耐炎剤を含有する、請求項 1 ~ 3 いずれかに記載の組成物。

【請求項 5】 一般式(IV)

【化 1】



式中、R¹、R²、R³およびR⁴は、互いに独立して、必要に応じてハロゲン化されたC₁ - C₈アルキル、C₅ - C₆シクロアルキル、C₆ - C₂₀アリールまたはC₇ - C₁₂アラルキルであり、それぞれ必要に応じてアルキルおよび/またはハロゲンで置換されていてもよく、

置換分nは互いに独立して0または1であり、

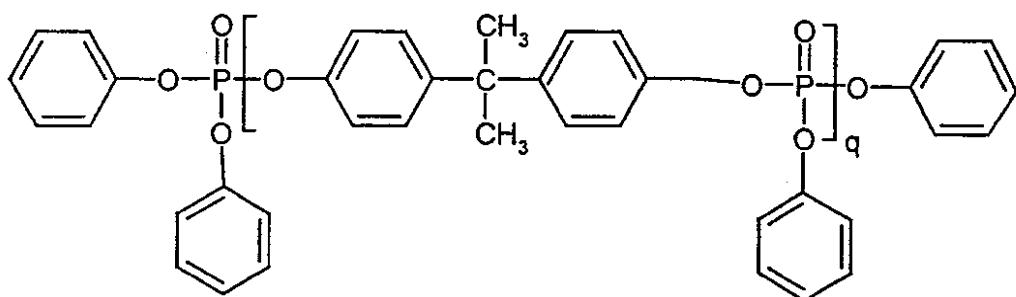
qは0～30を表し、および

Xは、炭素数6～30の単核または多核芳香族基、または炭素数2～30を有する直鎖状もしくは分枝状脂肪族基を表し、OH置換されていても8までのエーテル結合を含んでいてもよい、

の、少なくとも1種のリン化合物を耐炎剤として含有する、請求項1～4いずれかに記載の組成物。

【請求項6】 式

【化2】



式中、qは0.3～10である、

の化合物を耐燃剤として含有する、請求項1～5いずれかに記載の組成物。

【請求項7】 たれ防止剤としてフッ素化ポリオレフィンを含有する、請求項1～6いずれかに記載の組成物。

【請求項8】 たれ防止剤としてフッ素化ポリオレフィンをエマルジョンまたはバルクA B Sまたはそれらの混合物またはビニル(コ)ポリマーとの凝集物、プレコンパウンドまたはマスター・バッチの形態で含有する、請求項7記載の組成物。

【請求項9】 少なくとも1種の芳香族ポリカーボネート50～90重量%、衝撃変性剤としてエマルジョンまたはバルクA B Sまたはそれらの混合物1.5～25重量%、少なくとも1種の請求項1～11記載の耐炎剤2～20重量%、ビニル(コ)ポリマー0～20重量%、および請求項1～11記載のタルク1～20重量%を含有し、そして成分の合計が100である、ポリカーボネート組成物。

【請求項10】 肉厚1.5mm以下のUL94V試験をV-0でパスすることを特徴とする、請求項1～9いずれかに記載のポリカーボネート組成物。

【請求項11】 各種の成形物品および成形品の製造における、請求項1～10いずれかに記載のポリカーボネート組成物の使用。

【請求項12】 請求項1～10いずれかに記載のポリカーボネート組成物から得られる、成形物品および成形品。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0098】

フッ素化ポリオレフィンは、グラフトポリマーBまたは好ましくはスチレン/アクリロニトリルベースのコポリマーを有するプレコンパウンドの形態で使用され得る。フッ素化ポリオレフィンは、粉末の形態で、グラフトポリマーまたはコポリマーの粉末または顆粒と混合され、一般に208～330の温度で、インターナルミキサー、押出機および2軸スク

リューなどの通常使用される装置などで溶融コンパウンドされる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0100

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0100】

凝固物、ブレコンパウンドおよびマスターbatchは、通常、フッ素化ポリオレフィンの
固形分5~95重量%、好ましくは7~60重量%を有する。